

◆国道477号四日市湯の山道路の部分供用開始◆

【全体事業概要】

事業区間：高角IC（四日市市高角町）～新名神高速道路（仮称）菰野IC（菰野町音羽）の9km
 全体事業費：約425億円（平成9年度事業着手）

【今回の部分供用事業概要】

事業区間：高角IC（四日市市高角町）～ミルクロード（菰野町吉沢）の約4.4km

部分供用開始日：平成26年5月24日（土）

※県道上海老高角線（四日市市赤水町～平尾町）約1.6kmも同時供用開始予定（全体事業費約15億円）

◆三重県にJリーグチームを！！◆

今シーズンから、J1（18チーム）・J2（22チーム）に加えてJ3がスタートしました。J3は、11チームとJリーグアンダー22選抜の合計12チームとなっています。J3がスタートしたことで、36都道府県にJリーグのチームが広がってきています。残念ながら三重県に現在Jリーグのチームはありませんが、ヴィアティン桑名、ランポーレ鈴鹿、FC伊勢志摩の3チームがJリーグ入りを目指して活動を始めています。

私は、地域に根差したJリーグのチームがあることは非常に有意義であり、スポーツの力を身近に感じ、地域の一体感が生まれるように三重県をしていきたいと考えます。子ども達にとっても一流の選手と身近に触れ合う機会は大きな財産になると考えます。

「三重県にJリーグチームを！！」を合言葉に仲間たちとともにヴィアティン公式サポーター「オレンジ会」を立ち上げ私が会長を務めることとなりました。2月26日に第一回オレンジトークを開催し名古屋グランパスで活躍され現在中京大中京高等学校サッカー部監督の岡山哲也氏をお迎えし対談を行いました。今後、定期的にオレンジトークを開催していきますのでご興味あります方は事務局までお問合せ下さい。



オレンジトーク

（事務局：株式会社デルタスタジオ059-355-1320）

いながき昭義プロフィール

昭和47年 四日市市東坂部町生まれ（現在41歳）大池中学校・四日市高等学校・立教大学法学部卒業

平成7年～平成10年 株式会社三重銀行勤務

平成11年 三重県議会議員選挙出馬（26歳）12,431票で次点（416票差）

その後、学習塾・パソコン教室・NPO法人などを立ち上げ4年間生活。

平成15年 三重県議会議員選挙 初当選（30歳）最年少

以来3期連続当選。

これまで、政策防災常任委員会委員長、NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会委員長、

四日市港管理組合議会第45代議長（歴代最年少）等を歴任

現在、議会運営委員会副委員長 最大会派「新政みえ」政策局長

食の安全・安心の確保に関する条例検証検討会座長

facebook 【フェイスブックページのご案内】

FBページにて毎日の活動報告、情報発信を行っています。FBをご利用されている皆様、ぜひ私のFBページを見ていただき「いいね」を押していただけたらうれしく思います。尚、個人のページでは友達申請募集しておりますのでぜひ申請お願い致します。

<https://www.facebook.com/akiyoshi.inagaki.mie>



【個人献金のお願い】 いながき昭義の政治活動は皆様からの個人献金にお支えいただいております。勝手なお願いで恐縮ですが皆様からのご支援賜りますようお願い申し上げます。

◆三重銀行 本店 普通預金 口座番号1804244 名義 いながき昭義政経情報交換会
 ◆百五銀行 生桑支店 普通預金 口座番号397102 名義 いながき昭義政経情報交換会

発行：いながき昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

DREAM-21

Vol.40

三重県議会議員

あきよし

いながき昭義

後援会
報

Contents もくじ

- ごあいさつ
- 三重県食の安全・安心の確保に関する条例改正案可決
- 県政座談会のご案内
- 国道477号四日市湯の山道路の部分供用開始
- 少子化対策を強力に推進
- 三重県にJリーグチームを！！
- 健康福祉病院常任委員会報告
- プロフィール・FBページのご案内



台湾ランタン祭三重県出展ランタン

三期目の任期四年間も最後の年度を迎えました。これまで取組んできた様々な課題の集大成の一年になるよう全力を尽くします。

三重県議会では平成26年度当初予算の審議が終わり集大成の最終年度がスタートしました。4月からは消費税が増税となり、政府のデフレ脱却のための様々な経済政策もこれからが正念場です。

本県では、少子化対策、グローバル化への対応、三重県のブランド力アップの3点を重点ポイントに今年度は政策展開していくこととなります。私は初当選以来、子どもや孫の世代に責任ある政治を柱にこれまで取組んで参りました。一歩ずつ確実に結果が出せるよう全力を尽くして参ります。

日頃のあたたかいご支援に心から感謝を申し上げ、今後とも変わらぬご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

三重県議会議員 稲垣昭義

県政座談会のご案内

定期的で開催しております座談会を下記日程で行います。ぜひお誘い合わせでお越しください。どなたでも気軽にご参加いただける報告会です。よろしく申し上げます。

- 6月1日（日）18：30～ 八郷地区市民センター
- 6月1日（日）19：30～ 下野地区市民センター
- 6月8日（日）13：30～ 内部地区市民センター
- 6月8日（日）15：00～ 川島地区市民センター（和室）
- 6月8日（日）16：00～ 常磐地区市民センター



■ブログ「初心、継続。」

<http://ameblo.jp/dream-21>

稲垣昭義 ブログ

検索

■公式フェイスブックページを立ち上げました。

日々情報発信していますので、ぜひ皆さんご覧ください。

facebook

◆少子化対策を強力に推進◆

平成26年度当初予算が3月19日に可決しました。一般会計6,901億円、特別会計1,532億円、企業会計432億円の合計8,865億円となっています。中でも知事が最重点取組として示している少子化対策の新規取組について報告致します。

少子化対策の新規事業に平成25年度最終補正予算と26年度当初予算で合計5億2,205万円を計上

(少子化対策関連事業の予算総額は、87億3,241万円で前年度対比3.1%増)

【取組方向と目指すべき姿】

本県では、県民が結婚や出産・子育てに希望が持てる三重「みえ出逢いたい・産みたい・育てたいスイッチ」をキャッチフレーズに「子ども・思春期」「結婚」「妊娠・出産」「子育て」のライフステージごとに働き方も含めた課題と現場のニーズを洗い出し、切れ目ない支援を行うため、これまでの取組を強化し新たな取組を加えることとしています。

「結婚したい人が結婚でき」「子どもを産みたい人が安心して産み育てられる」よう取組み、県民の幸福実感を高めていくことを本県の少子化対策の目指すべき姿としています。

【主な新規事業】

■思春期ライフプラン教育啓発事業（585万円）

三重県版の思春期教育指導用パンフレットを作成する。

■みえの出逢い支援事業（1,154万円）

民間事業者と連携し、結婚を望む人が結婚できるよう多くの出逢いの場が提供されるための情報提供の仕組みづくりを行う。市町職員のコーディネートスキル向上をはかる。

■NICU（新生児集中治療室）等長期入院児在宅移行支援事業（5,292万円）

長期入院児の退院を促進する体制の支援や小児在宅医療を行うための体制整備、人材育成。

■少子化対策周産期医療支援事業（4,266万円）

周産期母子医療センターの施設整備への支援を行い、産科オープンシステム（主治医や助産師が拠点病院に出向いてお産を取り上げるシステム）を周産期母子医療センターに導入する。

■不妊相談・治療支援事業（4,318万円）

特定不妊治療費助成、不育症治療助成を実施した市町に費用の一部を補助する。都道府県で初めて男性の不妊治療についても助成を行う。

※所得400万円未満の夫婦に対し、国の補助制度（最大15万円）に、県と市町が折半して上乗せする形で最大25万円の補助を行っているが、さらに男性の不妊治療に限り、市町と折半して最大5万円を助成し、計30万円の補助を受けられるようにする。

■次世代育成支援特別保育推進事業補助金（7,698万円）

低年齢児保育について、急な入所希望に対応できるよう保育士を配置する経費の一部を補助する。

■病児・病後児保育施設整備事業（618万円）

病児・病後児保育施設整備に係る経費の一部を補助する。

■小児夜間医療・健康電話相談事業（1,625万円）

みえ子ども医療ダイヤルを設置し、深夜帯を含め夜間の子どもの病気・薬・事故に関する相談に対応する。

■男性の育児参画普及啓発事業（542万円）

「ファザリング全国フォーラムinみえ」の開催、イクメンアドバイザーの養成。

■子育て女性の再チャレンジ促進事業（2,695万円）

離職プランクを回復するための職場実習と、スキルアップ研修を行い、女性の再就職を支援する。

■就職を勝ち取る若者人材育成事業（9,917万円）

インターンシップ等を通じて失業者と若者の安定的な就労につなげる。

■少子化対策市町創意工夫支援交付金（1,000万円）

市町独自の少子化対策の取組を支援する。

◆健康福祉病院常任委員会報告◆

【三重県がん対策推進条例を可決】

私は、3期目の取組課題として、三重県歯と口腔の健康づくり推進条例（議員提案で制定済み）、三重県中小企業・小規模企業振興条例（3月19日に制定）とこの三重県がん対策推進条例の三本の条例づくりに深く関わってきました。今回全会一致で可決され結果を出すことができうれしく思います。今後、この新しく作った三本の条例と私が座長として改正案を取りまとめた、三重県食の安全・安心の確保に関する条例が、県民の生活や県内企業に多くの良い効果をもたらすことを期待致します。

尚、この三重県がん対策推進条例では、「がんの予防及び早期発見の推進」「がんに関する教育」「がん医療の充実」「緩和ケアの推進」「がん患者への支援」といった内容で取りまとめ、特に私がこだわったのは、最先端の高度医療への取組と小児がん対策の充実、医科歯科連携の推進、在宅医療の推進といった点で盛り込ませていただきました。

【医師確保対策・看護職員確保対策】

■医師確保対策

本県では、平成16年度に医師修学資金貸与制度を設置し、平成20年度には貸与枠の拡大を行い、貸与者の累計が408名（平成26年2月末現在）となり今後、県内医療機関で勤務を開始する修学資金貸与者の段階的な増加が見込まれます。2025年～2030年には県内の医師総数の需給の差が解消される見込みですが、医師の地域偏在や診療科偏在は依然解消されない見通しでその対応が求められます。

※2035年時点で、北勢・伊賀・東紀州は不足の状況が見込まれる。

※2035年時点で、高齢化に伴い外科・内科・整形外科の診療科は不足の見込みで、一方、産婦人科・小児科・皮膚科は供給過剰が見込まれる。

■看護職員確保対策

本県で実施した「看護職員の就業状況に関するアンケート」（1,660人回答）の結果、過去一年間の離職意向は、常にある25%、時々ある36.9%、稀にある18.1%を合わせると80%の方が離職意向があることが分かりました。

看護師需給状況調査では、2035年時点でも不足の状況が見込まれることから、今後、今回実施したアンケート結果を分析し、離職防止・復帰促進に焦点をあてた対策を行っていかねばならないと考えます。

また、院内暴力等に関するアンケート調査結果の報告では、県内病院の中で、半数以上が過去1年以内に患者や患者の家族から院内暴力・暴言などを受けており、年間に1病院平均6件発生しています。暴力等により怪我した職員の職種は看護師が87.5%とのことでした。看護職員の過酷な労働環境の中、見逃すことが出来ない調査結果であると感じます。今後しっかり分析を行い対策を立てる必要があると感じます。

◆三重県食の安全・安心の確保に関する条例改正案可決◆

昨年末、米穀の産地偽装及び食材の不適切表示が明らかとなり、食に対する信頼が揺らぐこととなりました。その対応のため昨年11月、県議会に「三重県食の安全・安心確保に関する条例検証検討会」を設置し、私が座長を務めることとなりました。年末年始にかけて委員の皆さんにスピード感を持って熱心に議論をいただき条例改正案を作成し、全会一致で可決いただきました。

改正のポイントは、同様の問題を二度と繰り返さないとの強い思いを前文に記載し、食品関連事業者の責務を強化し、食品関連事業者団体内の自浄作用が図られることを望み事業者団体の役割を追加しました。また危害情報等の申出の努力規定を新設しました。具体的な内容は今後策定する基本方針と行動計画に反映させていきたいと思っています。



三重県食の安全・安心の確保に関する条例検証検討会にて座長を務める

稲垣昭義
活動ショット！



平成26年1月20日
近鉄富田駅前街頭演説

平成26年1月23日
北海道議会食の安全・安心調査



平成26年1月28日
議会運営委員会視察(三重テラス)



平成26年2月3日
震災後召集代表者会議訓練

平成26年2月4日～6日
新政みえ会派視察(佐賀県、長崎県)



平成26年2月28日
本会議にて議案上程